

東海大学放送研究部 OB 会 第 2 回定期総会議事録

日時：2008（平成 20 年）年 9 月 14 日（日）14 時 30 分～16 時 30 分

場所：東海大学代々木校舎 4 号館 4405 教室

出席者：村居，木村，久我谷，曾我，森，粕谷，野口，吉田（邦），菊地，小林（三），
佐藤（一），砂子，瀬川，吉田（公），橋本，榎，米山，山田，原，平井，千野，池畑
白石，鈴木，（敬称略） 以上 24 名

第 1 部

記念講演：曾根 總雄 先生（文学部 日本史研究室 教授
学園史資料センター長）

「大学と放送研究部のあゆみ」

— — 10 分間の休憩の後，総会に入った — —

第 2 部 総会議事

はじめに、吉田 邦行副会長 を議長に満場一致で選出した。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 会長挨拶 | 会 長：木村 正義 |
| 2. 平成 19 年度 事業報告 | 副 会 長：砂子 昭彦 |
| 3. 平成 19 年度 決算報告 | 会 計：小林 三枝子 |
| 4. 会計監査報告 | 監 事：吉田 公子 |
| 5. 平成 20 年度 事業計画案 | 副 会 長：砂子 昭彦 |
| 6. 平成 20 年度 予算案 | 事務局長：佐藤 一 |
| 7. その他 | |
| 8. 閉会 | |

あいさつ(要約) (会長:木村正義)

3 連休のなか日，皆さん多忙なところ万障繰り合わせて出席いただきありがとうございます。

第一部の講演で，資料センターの曾根先生から大学と放送研究部の歴史を客観的にお話いただいたことは意義深いことと感じている。

歴史は文字通り事実の積み重ねであり，正確に残していかなければならないということを改めて感じた。

40～50 年経てば，先輩と後輩の間で物の見方，価値観が変わってくる。OB 会としてはそれを繋ぐ役割がある。年寄りが若い人の面倒をみるということばかりでなく，会に出れば若い人からもエネルギーをもらい，何か良いことが得られるという場にしていきたい。

==== 議事 ====

1. 第1号議案 平成19年度 事業報告 (副会長：砂子昭彦)

- ・9月16日に第1回総会を開催した。(参加者：28名)
- ・11月3日 建学祭に7名が参加。放送研究部に活動支援金をお渡しした。
そのあと4年生の平井君と野上委員長をはじめ、現役部員と情報交換を行った。
- ・OB会メンバー勧誘のため、振替用紙500枚を渡し、のちに会報「Air TBC」の送付時に同封してもらった。
- ・本年4月、現委員長の鈴木さんと、副委員長の佐々木さんと懇談の機会を得た。
- ・HPは、全面的に佐藤事務局長の協力があり立ち上げることができた。
- ・役員会は3回行った。(開催日時は配布資料の通り)
- ・8月上旬に、今回の総会案内を78通送付した。その結果総会に24名、懇親会に24名の参加の返事を受け取った。(参加メンバーは若干名が入れ替わる)
- ・現在、OB会の正式な現会員数は53名である。そのうち、今年度7名増加した。
(新規会員は佐藤文則、梅田奈美、原正樹、星野達也、矢崎貞和、佐藤貴仁、杉本正昭)
本日、千野賢一、白石穂高、池畑恒志の3名が新規加入し都合56名となった。引き続き若い人たちの勧誘をすすめ、会員拡大をはかりたい。
- ・今回欠席の返事のなかには健康問題と仕事の多忙の理由が散見された。本総会間際に2～3名欠席連絡があったが、皆さんも健康に気をつけて、次回総会でまた元気にお会いしたい。

==== 一同、拍手で賛同 ====

2. 第2号議案 平成19年度 決算報告 (会計：小林三枝子)

- ・OB会として現役の放送研究部に活動支援金を渡した。
- ・事務局費が予算の倍の支出となっているのは、HPのトップページのデザイン料が含まれているため、この費目は継続して支出するものではないので、事務局費として経理処理をした。
- ・レンタルサーバ代は初期費用と請求書作成費があったため、多少予算よりも多い支出となった。

==== 一同、拍手で賛同 ====

3. 第3号議案 会計監査報告 (監事：吉田公子)

- ・通帳、現金、領収書等監査の結果、適正に処理をされており報告のとおり相違ない。

==== 一同、拍手で賛同 ====

4. 第4号議案 平成20年度 事業計画案 (副会長：砂子昭彦)

- ・基本的な事業は前年と大きな違いはないが、具体的な内容はまだ決まっていない。
今後役員会で議論していく。
- ・最大の課題は新入会員の拡大である。

- ・次年度は役員改選の年に当たる。そのことも役員会の検討事項に含めていきたい。

出席者からは以下の意見，要望があった。

- ・役員会開催の折には役員だけでなく役員以外のひとにも呼びかけてみんなが会える機会を広げてもらいたい。
- ・今後役員会の開催時には皆さんに参加を呼び掛けたい。だが，会費予算がないので通信費がかけれないため，HP なり mail を多用することになるので理解願いたい。
今後はできるだけひろく呼びかけることにしたい。

=== 一同，拍手で賛同 ===

5. 第5号議案 平成20年度 予算案 (事務局長：佐藤一)

- ・予算編成時点で正式会員数は53名であるがそのうちの21名は19年度に20年度会費が入金済みとなっている関係で今年度は32名分の入金を予定している。利息は100円程度。支出の主なもの活動支援金，講師謝礼，交通費等で，通信費，消耗品費は前年実績並みとした。
- ・予算案（配布資料）からもわかるように，全体の運営資金の関係から懇親会援助金は圧縮するか，もしくは廃止を検討したい。
- ・決算報告からもわかるように，経費を節約するには今のところ通信費を節減するしかないため，連絡や資料等の配布についてはHP またはメールを利用することとしたい。皆様のご理解とご協力をお願いしたい。
- ・過年度会費の収入あったとして，例え10名としてもわずか。
やはり会員拡大が大きなテーマと考えている。
- ・4月からHP を立ち上げた。レンタルサーバのグレードアップ契約を検討したが経費の関係で本年度は現在の契約を継続したい。HP から入会受付が出来るようにしたい。アクセス数は着実に増えている。4月からの月平均332件。校友会のHP からリンクを張ってもらった。

以上の予算案並びに関係意見に対し以下のような意見が出された。

(意見)

- ・会費の値上げはやむを得ないのではないか。
- ・32名と書いてあるが，会員の総数が書いていない。名簿の作成をお願いしたい。

総数と定数などは議案書に書いた方が良いので，次回からそのようにしたいと思います。(議長)

- ・とりあえず“払いやすい金額”ということも大事で，会費値上げは次年度役員改選のことと併せて継続検討事項としたい。ただ，当面は会員拡大をめざしたいと思うが・・・。
- ・やはり，現役に近いOB にとっては2,000円程度が適当と思われる。
- ・未納者への呼びかけも大事。払わない人でも会員というのは納得感がない。
- ・現状では未納入者は3名で納入率94%となっている。

- ・会費は 2,000 円ぽっきりとせず, 2,000 円以上としたらどうか。
- ・納期を明確にしたほうがいい。

皆さんからいろいろ意見をいただきましたが, 頂いたご意見は次期役員会への申し送り事項として承認願いたい。(議長)

=== 一同, 拍手で賛同 ===

6. 第 6 号議案 その他の事項

(1) HP 管理者募集について

配布資料に基づき説明があった。現在の Light Plan から Standard Plan 変更する目的は現在の HP を充実するためには会員や現役の中から HP の作成・運営を手伝ってもらえるメンバーが複数必要となるため希望者を募りたい。(別添資料)

(2) 来年度総会の開催日について

- ・来年は 19 日～23 日まで土曜日を含め 5 連休になるので, 1 週間早めて予定したい。
- ・土曜は不都合との意見も考慮しつつ, 12 日または 13 日のいずれかで, 講演内容のことなど諸々を考慮しながら役員会で詰めていきたい。
- ・総会と懇親会を同一会場にしてほしい。
- ・代々木が 2 回続いたので検討課題ではある。
- ・来年は霞が関の校友会館が 33 階から 35 階に移る。そのことも考慮して考える。
- ・遠方から来るのに東京も熱海も一緒だ。東京以外での会議も是非検討してほしい。

これをもって議事終了します。有難うございました。

=== 議事終了 ===